

【那須】本格的なスキーシーズン到来を前に雪道での運転に関する技術や安全意識の向上を図ろうと、県内63のバス事業者が加盟する県バス協会は12日、湯本地区周辺で雪道走行研修を初めて行った。同協会加盟社の運転手22人が参加し、座学と実地講習を通して雪道を走行する際の注意点を学んだ。(生澤一浩)



⑤座学を受講する参加者⑥公道を使って行われた雪道走行研修の実地講習

スキーシーズン 本格到来前に

那 須

雪道の運転向上を図る

県バス協会が初の研修

同協会は全国での観光バスや高速バスの重大事故が、ここ数年増えつつあることから企画。過去に他県で行われた雪道走行研修を視察したことはあるが、独自に主催したのは今回が初

めて。那須自動車学校(那須塩原市二区町)の教官が講師を務めた。

実地講習は大島のスキー場「マウントジーンズ那須」から福島県西郷村に至る県

道那須甲子線の約7キロの区間で行われ、参加者は3台のバスに分乗し、交代で

運転しながら雪道でのハンドルやアクセル、ブレーキの操作を再確認。インストラクターは助手席に座ってアドバイスした。湯本のホテルで行われた座学では同校主任教官の浅利裕悦(ゆづ)さんが「タイヤの種類による滑り止めの性能の違いや雪道でのトラブルを回避する方法などを説明。『道路の特徴や路面状況をしっかりと把握した上で走行してほしい』と呼びかけた。

町の「協和交通」取締役の秋本孝志(たかし)さん(54)は「こうした研修に参加することで自分の運転を客観的に見詰め直すことができる。久しぶりに同業他社の方々と交流できたことも有意義だった」と感謝していた。同協会の小矢島(こやしま)行専務理事(62)は「これからスキー教室の送迎などで県内のバス会社も雪道を走る機会が増える可能性がある。参加者が研修で学んだ知識を持ち帰り、仲間に広めてくれれば」と期待していた。

県北・日光版

SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE

- 読者室
TEL.028(625)1179
- 大田原総局
TEL.0287(20)1023
FAX.0287(20)1024
- 日光今市総局
TEL.0288(30)1023
FAX.0288(30)1024
- 日光支局
TEL.0288(50)1023
FAX.0288(50)1024
- 那須塩原支局
TEL.0287(67)1623
FAX.0287(67)1624
- 矢板支局
TEL.0287(40)1023
FAX.0287(40)1024
- 那須烏山支局
TEL.0287(80)1023
FAX.0287(80)1024

掲載写真 詳細はWEBで!
購入できます
申し込み (記者撮影分に限り)
企画開発部
(受付 平日9:30~17:30)
028-625-1102